

環境人材育成プログラム開発・実証委員会（第3回）議事録

日時：平成 22 年 3 月 17 日（水）12:00～13:30

場所：ホテルメトロポリタン盛岡本館 4F すずらんの間

出席者：玉真之介（岩手大学理事・副学長、環境人材育成プログラム開発・実証委員会委員長、INS：CSR／環境人材育成研究会幹事、岩手県幼小中高大専 ESD 円卓会議幹事）、大塚尚寛（岩手大学副学長・環境マネジメント推進室長、INS：CSR／環境人材育成研究会会長）、牧陽之助（岩手大学人文社会科学部長・環境人材育成 WG 代表、INS：CSR／環境人材育成研究会幹事）、田中吉兵衛（岩手大学教員養成機構教授、岩手県幼少中高大専 ESD 円卓会議幹事）、山本健（岩手県立大学講師・INS：CSR／環境人材育成研究会幹事）、菊田哲（岩手県中小企業家同友会事務局長・INS：CSR／環境人材育成研究会幹事）、藤原敏代（リコー東北株式会社岩手支社環境管理責任者、INS：CSR／環境人材育成研究会幹事）、成田公哉（岩手県環境生活部課長、INS：CSR／環境人材育成研究会幹事）、平井孝典（岩手県環境生活部課長、INS：CSR／環境人材育成研究会幹事）、長岡美和子（NPO ASIA Environment Alliance、INS：CSR／環境人材育成研究会幹事）

欠席者：後藤尚人（岩手大学人文社会科学部教授、いわて高等教育コンソーシアム幹事）、渡辺彰子（NPO 環境パートナーシップいわて副代表）

【配付資料】

1. 環境人材育成プログラム平成 21 年度業務報告書原稿
2. 環境人材育成プログラム平成 21 年（2009 年）度「環境管理実務士」要綱
3. 環境人材育成プログラム来年度（平成 22 年度）の主な事業について
4. 平成 22 年度プログラム事業計画書
5. 平成 22 年度プログラム予算価格積算調書

議題 1 平成 21 年度業務報告書について

玉委員長から、資料 1 に基づき、平成 21 年度環境人材育成プログラム業務報告書の概要が説明された。加えて、オブザーバー参加の中島清隆氏（岩手大学環境人材育成プロジェクト推進教員、INS：CSR／環境人材育成研究会事務局）から補足説明がなされた。

第 2 回プログラム開発・実証委員会において報告書の目次案が了承されていることが再確認された。

質疑及び意見交換の後、平成 21 年度業務報告書について了承された。

議題 2 「環境管理実務士」の資格要件について

玉委員長から、資料 2 に基づき、環境人材育成プログラム平成 21 年（2009 年）度「環境管理実務士」要綱の概要が説明された。

山本委員から、岩手県立大学の学生が岩手大学認定資格「環境管理実務士」を取得することはできるかとの質問が出された。玉委員長及び大塚委員、牧委員から、岩手県立大学の学生が資格要件を満たす難しさが指摘され、当面は岩手大学の学生を対象

としつつも、いわて高等教育コンソーシアムのプログラムに発展させることなども念頭に置き検討していくと回答された。

質疑応答及び意見交換の後、岩手大学に設置された資格認定小委員会で具体的な事項について煮詰めていくことを前提に、「環境管理実務士」の資格要件及び要綱が了承された。

議題 3 平成 22 年度の主な事業について

玉委員長から、資料 3 に基づき、平成 22 年度の主な事業について説明があった。第 2 回プログラム開発・実証委員会における内容を確認した後、環境教育用 DVD とパンフレットの 2011 年度版更新、ESD 銀河セミナーの一環として、ボランティア活動に関するセミナーを年 6 回程度開催すること、環境管理実務士資格認定小委員会の設置、平成 22 年 10 月までに『環境管理実務士平成 22 年（2010 年）度版要綱』を作成すること、が補足説明された。

各委員から、今年度の環境人材育成プログラムへの評価を踏まえつつ、来年度の事業について次の意見が出された。

- ・岩手県の中小企業における環境報告書作成協力科目の実現に結びつけることが難しい。協力していただく企業の満足度を高めるために、学生への教育や指導をどのように進め、どの程度まで行うか、マニュアル化の構築が必要である。
- ・平成 22 年 10 月開講予定である岩手県中小企業の環境報告書作成協力科目について、6 月から 7 月までに協力企業を選定し、情報収集や現状把握、大学側と企業側のすり合わせを計画的に行うことが望ましい。
- ・国際ボランティア活動に関する計画作りや進め方について来年度検討する必要がある。

以上の意見交換及び質疑応答の後、平成 22 年度環境人材育成プログラムの主なについて提案通り了承された。

議題 4 その他：委員の承認について

来年度（平成 22 年度）の新たな委員として、藤井敬芳氏（盛岡市環境企画課長）を加えることについて委員長より提案があり了承された。

玉委員長より、今年度の外部委員に対して、来年度の委員継続の要請があり、了承された。

報告 1 平成 22 年度プログラム事業計画書と予算価格積算調書の環境省への提出について

玉委員長より、資料 4 と資料 5 に基づき、平成 22 年 2 月 19 日に環境省へ「平成 22 年度プログラム事業計画書」と「予算価格積算調書」を提出したとの報告があった。

報告 2 その他

特になし。